



Medical Studio ジェネラリスト・スクール
「コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科」

第三期 募集要項

地域に働きかけ、住民とともに暮らしを変える突破力を獲得したい医療者へ
「医療 x まちづくり」を実践するための協調型リーダー養成コース

全国 4 都市で同時開講
今期より他都市への振替受講が可能に
医師以外の職種からの応募も大歓迎

応募〆切日：2015年2月28日(土)

※応募状況により二次募集の可能性あります

1. コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科 開講の主旨

新たな時代の新たなヘルスケアを構想・構築するためには、「突破力」が必要だ、と Medical Studio は考えます。

人口・産業構造が変わり、生活ニーズも多様化・複雑化しています。
それに伴い、ヘルスケアも中長期的な視点にたって再編成されることが期待されています。

Medical Studio は、「ヘルスケア」を生きることへの知恵とその実践のためのシステムと考え、新たなヘルスケア・システムを構想・構築できる新しいタイプのリーダー支援に取り組んでいます。「ヘルスケア」を、医学的支援による健康管理だけではなく、社会システムとしての健康の保障、また住民どうしの助け合い、支えあいによる健康の保全を含む概念として扱います。ヘルスケアは、地域の関係機関や住民が、自治の一貫として自ら構想・構築するもの、と考え、それを強調するため、地域性だけではなく、共同性を強調する「コミュニティ」概念と併せて「コミュニティ・ヘルスケア」と呼び、新たなリーダーの養成に取り組むものです。

そのリーダーシップ・スタイルは、父権的なものではなく、地域の底力を引き出し、活かす協調的なものを思い描きます。ヘルスケアを俯瞰し、指揮棒を振ることができる“健康コンダクター”としての機能に注目して独自に開発したカリキュラムでは、現状を突破するための発想と手法を実践的に学びます。単体の組織経営のテクニックではなく、地域のヘルスケア・システム全体を動かすための思考法を体得します。

10年で1,000人の修了生が、全国で新しいヘルスケア・システムに構築する未来を目指しています。これまでに、49名の医師や看護師、薬剤師や理学・作業療法士のほか、管理栄養士や医療ソーシャルワーカーなど多様な職種の皆さんとともに学び、それぞれのプロジェクトを完遂、もしくは実践中です。

Medical Studio は、まちづくりとしての医療を実践する専門職を支援するための教育機関「Medical Studio ジェネラリスト・スクール」を開校しています。地域とつながり患者さんやご家族に伴走する医療者を養成する「プライマリ・ケア学科」、“医療”の枠を越えて、地域の生活課題を理解し、解決策を構想するための「コミュニティ・デザイン学科」、そして、具体的な解決策を実行するためのリーダーシップを修得する本学科の3本柱で進めています。2015年度の本学科は、東京、札幌、福岡に続き、大阪の4拠点で開催します。

地域の健康関連課題の解決に乗り出したいのなら、ぜひ受講ください。独自に開発した教材と、革新的な教育手法により、複雑な社会に対応できる「OS」にバージョンアップできるはずです。

一般社団法人 Medical Studio 代表理事
野崎 英夫 ・ 坂本 文武

2. コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科が目指す人材像

地域の力を引き出し、地域の暮らしをささえあう仕組みを発想し、構築するための思考法や複数の解決法を持ちうる人材の育成を目指しています。型にはまらず、医療者の“権威”を行使しないしなやかなリーダー像を模索します。複雑で複層的な課題が絡み合う現代社会において、状況に応じて柔軟に対応ができること、そして、住民が自治の一貫としてヘルスケアを考え行動できるために、住民が主体の仕組みを構想することが、これからの社会に必要なだと考えるからです。

具体的には、下記の3つの視座を獲得することを重点において、プログラムが設計されています。

① 批判的思考

常識や前例、慣習にとらわれることなく、常に本質を考え続けるための思考法

② 複眼的視角

事象や人の行動の背景にある多様な価値観を理解し、受容するための複眼的な視野

③ メタ視点（デザイン発想）

常に地域を俯瞰し、ゴールから逆算しながら戦略的に仕組みを構築できる発想法

3. コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科の特徴

新しい時代のコミュニティ・ヘルスケア・リーダーに必要な10の要素を抽出し、ヘルスケアの現場にあった実践的な教材を独自に開発し、カリキュラムとして提供します。下記の3つの特徴を兼ね備えます。

1) 独自開発したケースをハーバード・ビジネス・スクール流「ケース・メソッド」で徹底議論

新しい知を創造する学習方法「ケース・メソッド」を導入し、議論を通して小規模で濃密な新たな学びを提供します。すべて、当学科のために開発されたオリジナル教材。学び会う仲間は、第一線の多職種の医療者たち。リアルなケースに対して、1日1テーマをじっくりと、当事者意識を持って、現場の“修羅場”を擬似的に体験するから、上記①、②、③の視座が修得できます。

2) 期間中に、学びを実践する「マイ・プロジェクト」制度

学んだことを実践する「マイ・プロジェクト（マイプロ）」で、自らリーダーシップを発揮する現場を持ちます。毎回、実践の結果を持ち寄り、講師や受講する仲間からのフィードバックを受けることができます。実践で悩んだら講師や仲間が相談にのることも可能。学んだことは、現場で成果を出す仕組みです。最終日には、公開プレゼンで、さらに多くのフィードバックを受けることができます。

3) スペシャルゲストとリーダーの哲学を語り合う「夜塾」

日中の時間帯で行う理論や議論以外に、スペシャルゲストと食事をしながら親密に語り合う「夜塾」を通して、リーダーの哲学を体感できます。これまでの主なゲストは、日本病院会会長の堺常雄さん、福井大学医学部附属病院の寺澤 秀一さん、金沢赤十字病院の西村 元一さん、

隠岐島前病院の白石 吉彦さんや、宮崎県地域医療支援機構の池ノ上 克さんほか、です（2015 年度ゲストは調整中です）。さらには、夜塾終了後は、受講生どうしが夜な夜な語り合うことも、合宿ならではの醍醐味。

■ 10 の学習要素と学習の流れ

新しいヘルスケアをデザインし、構築できるリーダーが理解・修得しておきたい 10 の領域（下記）を学ぶ半年間のコースです。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. チームマネジメント | 6. ソーシャル・マーケティング ★ |
| 2. 場のマネジメント | 7. コミュニティ（地域）開発 ★ |
| 3. ビジョン構築（デザイン思考） | 8. 組織論／ガバナンス |
| 4. 戦略構築（システム思考） | 9. 組織・組織文化変革 |
| 5. 地域資源開発 | 10. リーダーシップ |

★印は、東京校のみ提供予定の領域です。

学習は、事前学習（1 ヶ月）→集合研修→事後学習（1 ヶ月）に加えて、期間中「マイ・プロジェクト（マイプロ）」の実践 & ブラッシュアップ、と繰り返されます。研修と研修の間は、講師や受講者が学び続けるため、開催地ごとに Facebook グループを開設し、振り返りのコミュニケーションが発生します。

事前学習は、基礎知識レベルを整えるための事前課題図書を読み込み（各回2～3冊）のほか、ケース（教材）の読み込みとマイプロシートの記入があります。事後学習は、各テーマ 10 冊の参考図書のうち数冊を読み、集合研修での学びを整理する自己学習です。



▼ 受講の様子



4. 開講内容 ※「T-Day ○」は、東京校の日付、T-Day 5 & T-Day 6 は東京校のみ開講

日程	科目		学習形態
Day1	関係者を同じ舟に乗せる ダイアログ・スキル	ファシリテーションの本質的技術を体得し、学びの基礎的 能力を構築（場のマネジメント）	体験・実習
	夜塾 1	スペシャルゲストとの対話からリーダーシップを体得する	車座トーク
Day2	機能する多職種チームの つくり方、動かし方	ともに働く仲間との関係構築、役割分担の極意を習得 （チーム・ビルディング、チーム・ワーク）	体験・実習
	マイ・プロジェクト 1	成し遂げたい企画を立案。グループでブラッシュアップ	体験・実習
Day3	人を動機づけるヘルス ケア・ビジョンのつくり方	ビジョン構築の必要性、手順や、それを発想・デザインする ための視点・視座を学ぶ（ビジョン構築、デザイン発想）	ケース・ メソッド
	夜塾 2	スペシャルゲストとの対話からリーダーシップを体得する	車座トーク
Day4	地域のチカラを活かす 協創戦略のつくり方	地域資源を特定し、エコシステムを構築する戦略発想と手 順を学ぶ（戦略構築、システム思考）	ケース・ メソッド
	マイ・プロジェクト 2	マイ・プロジェクトを個人ワーク＋グループでブラッシュアップ	体験・実習
T-Day5	ケアする力を高めるための 地域の興し方	地域のケアする力を引き出しさらに高めるための発想や、 働きかけ方を学ぶ（コミュニティ開発、地域資源開発）	ケース・ メソッド
	夜塾 3	スペシャルゲストとの対話からリーダーシップを体得する	車座トーク
T-Day6	課題を共有し仲間を 増やすマーケティング	地域が抱える課題を共有し、それを解決するための仲間を 募り活動を拡げるための発想を学ぶ（マーケティング）	ケース・ メソッド
	マイ・プロジェクト 3	マイ・プロジェクトを個人ワーク＋グループでブラッシュアップ	車座トーク
Day5 (T-Day7)	持続可能な組織の つくり方とまわし方	組織の光と影を理解し、ガバナンスやマネジメントなど、組 織の要点を学ぶ（組織論、ガバナンス）	ケース・ メソッド
	夜塾（マイ・プロジェクト）	受講生どうしの対話からマイプロをブラッシュアップする	車座トーク
Day6 (T-Day8)	変革のための リーダーシップ	既存組織を変革する、地域生活をささえる新たな仕組み をつくるための発想法を学ぶ（リーダーシップ、組織変革）	ケース・ メソッド
	マイ・プロジェクト 3	マイ・プロジェクトを個人ワーク＋グループでブラッシュアップ	体験・実習
Day 7 (T-Day 9)	成果発表 －公開アイデアピッチ	マイ・プロジェクトに至る課題認識と進捗、成果をフロア参 加者に報告し、さらなる改善のためのコメントを受ける	プレゼン

5. 開催場所と日程（2015年5月～2016年1月）

東京・札幌校は、土曜日の13:30開始、日曜日の15:30解散を予定しています。
 大阪・福岡校は、土曜日の14:00開始、日曜日の16:00解散を予定しています。

	Day 1 & 2	Day 3 & 4	T-Day 5 & 6	Day 5 & 6 (T-Day 7 & 8)	マイプロ 発表★
東京校	6/6 (土) - 6/7 (日)	8/8 (土) - 8/9 (日)	10/3 (土) - 10/4 (日)	12/5 (土) - 12/6 (日)	1/16 (土)
札幌校	5/30 (土) - 5/31 (日)	7/25 (土) - 7/26 (日)		9/26 (土) - 9/27 (日)	10/24 (土)
大阪校	5/16 (土) - 5/17 (日)	7/11 (土) - 7/12 (日)		9/19 (土) - 9/20 (日)	11/3 (火・祝)
福岡校	7/4 (土) - 7/5 (日)	9/5 (土) - 9/6 (日)		11/14 (土) - 11/15 (日)	12/12 (土)

★ マイプロ発表日は、受講生と相談して最終調整をしますので、現時点では仮日程です。

※**他校への振替が可能になります！** **NEW**

- ・ 2015年度より、他校で開催されている同じ内容のコマとの振替を可能にします。
- ・ 申込・登録をした場所（東京、札幌、大阪、福岡）を本籍地としますが、「Day x」を1単位として、最大3単位まで振替が可能です。
- ・ 他校への振替を希望する本籍地開講日の1週間前、または、振替希望先の開講日の1週間前のいずれかの早い日までの申込により、振替を受け付けます。
- ・ ただし、Day 1 & 2 とマイプロ発表日は、振替不可です。また、東京のみ開講する T-Day 5 & T-Day 6 は、他校からの受講はできません。上記表の赤塗り、太枠内が、振替不可の日です。

6. 募集要項

■ 学科名

学校名： Medical Studio ジェネラリスト・スクール
 学科名： コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科 第三期（CHL 学科）
 履修時間： 東京：48時間（延べ4泊9日）、札幌、大阪、福岡：37時間（延べ3泊7日）
 開催場所： [東京] 世田谷ものづくり学校（世田谷区）+ ザ・ビー三軒茶屋（世田谷区）
 [札幌] 芸森スタジオ（札幌市南区）

[大阪] I&I Land (大阪府四條畷市)

[福岡] 休暇村志賀島 (福岡市東区)

※各会場の最終日(マイプロ発表会)の会場は調整中です。

開催時間： 東京・札幌校＝土曜日の13:30開始、日曜日の15:30解散予定
大阪・福岡校＝土曜日の14:00開始、日曜日の16:00解散予定

修了要件： マイ・プロジェクト(修了プロジェクト)の実践及び報告

主催者： 一般社団法人 Medical Studio

■募集人数

各会場最大20名(最少開講人数：15名)

※最少開講人数に達しない場合は、開講しない可能性があります。予めご了承ください。

■出願資格

入学時点において、医療・保健・福祉関係組織における原則5年以上の職務経験を有している、もしくは、職場においてリーダーシップを発揮する立場にある人で、下記の要件を満たすことのできる人の受講申込みを受け付けます。

- ・ 全日程の出席ができる(但し、振替が認められる日程については他会場での振替受講を行い、出席とすることができる)。
- ・ 各回、課題図書を読み込み等の事前学習と、参考図書を読み込み等の事後学習ができる。
- ・ 集合研修と集合研修の間に、Facebookで受講生どうしの議論に参加できる。
- ・ 研修期間中、自らがリーダーシップを発揮して取り組みたい「マイ・プロジェクト」を設定、推進できる。

※「マイ・プロジェクト」は、この機会にご自身が実践したいプロジェクトであれば、その規模の大小や、地域との関わりの多少は問いません。

■応募方法

受講規約に同意のうえ、下記URLから課題エッセイをそえて申込をしてください。

<http://medical-studio.jp/project/ch12015/>

「コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科の受講を通してやり遂げたいこと」を課題エッセイとして、1,000文字以内にまとめてください。書式は自由です。受講の可否は、募集締め切り後1週間以内に、事務局よりご連絡申し上げます。その上で、受講いただく場合は、2015年4月3日(金)までに受講料を全額お振込ください。

■募集締め切り

2015年2月28日(土) 23:00

※最少開講人数に達しない場合は、追加募集をする可能性があります。

■ 選抜方法

課題エッセイによる書類選考を行います。

受講の可否は、募集締め切り後 1 週間以内に、事務局よりご連絡さしあげます。

■ 受講料

[東京] 235,000 円 (税抜) 、253,800 円 (税込)

[札幌・大阪・福岡] 185,000 円 (税抜) 、199,800 円 (税込)

※上記には、宿泊費や研修中にかかる飲食費を含みます。なお、課題図書のご購入と会場までの往復交通費は、ご自身でご負担ください。なお、入学金は不要です。また、一度お支払いいただいた受講料は払い戻しできません。予めご了承ください。

※請求書や領収書は、ご希望に応じて発行します。受講申込の際、お申し付けください。

※組織派遣も受け付けています。これまでに、手稲溪仁会病院や北海道家庭医療学センター、佐久総合病院が、多職種チームを受講生として派遣しています。ご相談ください。

■ お問合せ先

一般社団法人 Medical Studio 担当：粕谷・坂本（平日 10 時～19 時）

TEL: 03-6457-7967、FAX : 03-6457-7968、Email : chl@medical-studio.jp

【参考】Medical Studio ジェネラリスト・スクールとは

- ① 全人的視点でケアをしていくなかで
 - ② 生活課題の解決に向けた
 - ③ 仕組みづくりに乗り出す医療者を
- 「ジェネラリスト」と呼び、教育を通して支援する一般社団法人 Medical Studio が開校する“学校”。

住民が相互にささえあいながら健康を保全する近未来を想定し、全人的な視点でケアができるプライマリ・

ケアの担い手を増やすための e ラーニング「プライマリ・ケア学科」（右下写真）は、今春サービス提供を開始。地域とのつなげ方を徹底して学ぶコース。さらに、患者・家族が抱える生活課題を理解し、その解決策を発想できるための「コミュニティ・デザイン学科」も開講に向けて準備中。医療者のための社会学シリーズや、コミュニティ・デザインの実践コースを検討中。そして、医療 x まちづくりを実践するための協調型リーダーシップを修得する「コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科」は、2013 年度から先行して開講中。

プロフェッショナリズム

専門性

立脚する知識領域

自然科学

影響力の行使

チーム医療

Medical Studio
ジェネラリスト・スクール

①プライマリ・ケア学科

総合性

= 総合力

②コミュニティ・デザイン学科

社会科学

= 越境力

③コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科

住民主体の
健康まちづくり

= 突破力



－【参考】過去の修了生一覧－

(肩書きは当時、敬称略)

■第一期（東京）13名

今立 俊輔 | 長崎医療センター総合診療科／ながさき地域医療人材支援センター 医師

宇井 睦人 | 東京医療センター 総合内科 医師

佐々木 隆徳 | みちのく総合診療医学センター 副センター長

瀬尾 龍太郎 | 神戸市立医療センター中央市民病院 麻酔科 副医長

高橋 春光 | 中津川市地域総合医療センター／中津川市民病院 総合診療科 部長

田原 正夫 | 尼崎医療生協 ナニワ診療所所長

玉城 武範 | (有) くすりのミドリ (沖縄) 薬剤師

埜 勝博 | 医療法人涼友会 在宅診療部長／やまと在宅診療所 地域連携室長

原澤 慶太郎 | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 経営企画室／地域医療学講座プログラムディレクター

譜久山 剛 | 譜久山病院 (兵庫) 院長

丸山 善治郎 | 医療法人いばらき会 いばらき診療所みと 院長

山口 高秀 | 医療法人おひさま会 (兵庫) / 一般社団法人 LINK 代表理事

横林 賢一 | 広島大学病院 総合内科・総合診療科 助教

■第二期（東京）12名

秋根 良英 | 医師

阿部 佳子 | 東京ほくと医療生協 生協浮間診療所、医師

有田 依理 | キャップクリニック 代官山 T-SITE、薬剤師

井上 彰 | 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター、医師

倉本 剛史 | 苓北クリニック、NPO 法人つなぐ 代表理事、医師

小松 裕和 | 佐久総合病院 地域ケア科、医師

鷹野 敏弥 | 佐久総合病院 再構築推進室

高見澤 広恵 | 佐久総合病院 地域ケア科、看護師

竹内 寛子 | オレンジホームケアクリニック アシタント プロデューサー

富田 さつき | 医療法人社団富田医院、医師

中村 由美 | 長野県上田市役所、保健師

三輪 恭子 | 淀川キリスト教病院 地域医療連携センター、看護師

■第二期（札幌）11名

伊西 夏恵 | 生涯医療クリニックさっぽろ チーフコーディネーター、作業療法士

岩永 輝明 | ライフフィットデイリはびる デイサービス 管理者兼リハビリテーション係長、作業療法士

大杉 直美 | 北海道家庭医療学センター看護部長、本輪西ファミリークリニック看護師長

太田 敏弥 | 手稲溪仁会病院 地域連携福祉センター課長補佐、医療ソーシャルワーカー

金子 直美 | 介護老人保健施設ラポール東小樽 理学療法士主任

川口 篤也 | 勤医協中央病院 総合診療センター副センター長

田村 卓也 | 手稲溪仁会病院 小児科主任医長

筒井 明弘 | 医療法人溪仁会法人本部 経営管理部部长

松田 諭 | 北海道家庭医療学センター 栄町ファミリークリニック院長

松山 なつむ | 訪問看護ステーション かしわのもり 所長、訪問看護師

山田 康介 | 北海道家庭医療学センター 常務理事、更別村国民健康保険診療所所長

中園 光一 | 益城なかそのクリニック 理事長

濱田 裕子 | 九州大学大学院医学研究院 准教授、看護師

■第二期（福岡）13名

伊藤 晶子 | 正現寺 薬剤師

濱村 まり | 宮崎大学医学部附属病院 医療ソーシャルワーカー

今長谷尚史 | 佐賀大学医学部附属病院 助教

林 賢正 | 山口県立総合医療センター内科医師

内田 浩稔 | 医療法人にのさかクリニック 統括部長 医療ソーシャルワーカー

福田 貴博 | 国立病院機構琉球病院 アルコール病棟医長（精神科医）

清井 起鵬 | 正信会水戸病院 医師

山本 亮 | 株式会社くまもと健康支援研究所 管理栄養士 ほか、医師、作業療法士

坂井 正弘 | 株式会社麻生 飯塚病院 総合診療科 後期研修医

－【参考】修了生の受講後の感想－

- ・ CHL 学科を受講したことの成果として「うまく言葉に出来ないけど、自分の中の OS が進化した感じ」。
- ・ 実践している仲間からの刺激や学びは大きい。
- ・ 多様な考え方や選択肢を身につけることができた。自分の視野の狭さや医療者目線を痛感した。
- ・ 社会人になって、組織外の人たちと短期間で今回ほど濃厚な交流したことはなかった。
- ・ 普段、意識なくやっても医療現場はまわってしまう。今回、ここにきて現場は難しいもので、常に「モヤモヤ」していいのだと感じたことも収穫。
- ・ 根本的に何が問題なのか、を考える習慣がついたのは、大きな収穫だった。
- ・ “修了”するのではなく、今後、自分にとって学習が必要な領域や方向性について認識することができ、そのために有用な学習資料を提示されたこと、必要な学習態度が身についたこと、素晴らしい人との繋がりが生まれたと感じている。
- ・ 改めて自分が何をしたいのか、リーダーとして何をしたいのか、を考える機会になった。
- ・ 人との議論がまとまらない、前に進まない理由をしっかりと考えるきっかけになっている。すっきりしないことが多く、まだ考えを整理できていないが、洞察する機会になった。
- ・ 毎回結論が何もせずにモヤモヤして帰ってきて混乱したが、新たな場所でどんどんモヤモヤするため首をつっこんでいこうと思えるようになったのは収穫。
- ・ リーダーやリーダーシップは、才能がないとできない、そして自分にはその才能がない、と思っていたが、どうもそうでなくてもよさそうだ、と思えるようになったのは良かった。
- ・ 権威や権力は嫌いだったが、使いようだし、使っていくのがリーダーだと理解できるようになった。別の世界の新しい見方を教えてもらったので、これからも学び続けたい、と思った。
- ・ 「自分ごと」として人々の問題を捉えることが肝要であると、痛感した。まさにこれが、医療者たる自分がやっているつもりでやれていないことで、いかに普段から“客観的”な視点をメインにして様々な問題を見ているかと知った。

Medical Studio ジェネラリスト・スクール

「コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科」受講規約

この規約は、一般社団法人 Medical Studio が開設するジェネラリスト・スクール（以下「当校」といいます）が提供する「コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科」の講義及び講義に付帯するサービスを利用する際に、適用する事項を定めたものです。予め内容をよくお読みになり、同意して頂いた上でお申し込みくださいますようお願いいたします。

[入学・受講]

Web 上での受講申込フォームに必要事項を記入し受講申込完了後、当校が実施する書類選考を通過された方が、受講料及び入会金を納入し、入金確認が取れた時点で受講可能となります。

[受講申し込み]

- 1) Web 上で受講申込フォームに必要事項を記入し、締切日までに受講申込を完了させてください。当校で書類審査をさせて頂き、受講生として決定された方に「受講のご案内」をお送りします。「受講のご案内」に記載された振込先口座に入学金および受講料の入金確認が取れた時点で正式な「入学」とさせていただきます、当該講座の受講が可能となります。
- 2) 入学金は、当校の「コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科」の講義〈または当校の講義〉を初めて受講する受講生から当校にお支払いただくものです。一度お支払頂いた入学金については、その後お支払いただく必要はございません。
- 3) 振込期日までに入金確認が取れない受講生からの申込みは、キャンセルとさせていただきます。

[講座の開講、閉講、変更等]

- 1) 学習効果の観点より、最少開講人数に満たない場合、あるいはやむを得ない事情がある場合、開講せずに別の地域で開講するクラスあるいは次回募集以降に振り替えていただく場合がございます。この場合、受講生は受講をキャンセルできるものとします。
- 2) 講師の都合により代理の講師による講義、あるいは日程、場所(集合研修の場合)、内容等が変更になる場合があります。
- 3) 天災、地変、戦争、暴動、労働争議、降雨その他の気象等の事由、火災、電力の供給制限、原子力災害等の事故その他当校の責に帰する事の出来ない不可抗力の事由によりサービスの提供が停止した場合、集合研修は休講、閉校又は延期となる場合があります。
- 4) いかなる場合も代理人による受講は認められません。

[講座の振替]

- 1) やむを得ず講義を欠席した場合、または事前に欠席しなければいけない研修日程がある場合は、当

校の許可を得たうえで、欠席した回と同一内容の講座を、他地域で 1 回に限り受講することができます（同一内容の講座を 2 回以上受講することはできません。）。但し、他地域の受け入れ人数が最大開講人数を超えた場合、その他振替受講を受け入れることができない事情がある場合は、その限りではありません。

- 2) 振替の申込は、他校への振替を希望する本籍地開講日の 1 週間前、または、振替希望先の開講日の 1 週間前のいずれかの早い日までを期限とし、書面により受け付けます。
- 3) 前項の振替は 2 日連続の講座を 1 セットとしてセットごとの振替とすることを推奨しますが、単日での振替も可能とします。
- 4) 第 1 項の振替は、1 日分の講座の振替を 1 回とカウントし、合計 3 回まで可能とします（2 日連続の研修を 1 セットとして、1 セットの振替をした場合には、2 回とカウントされます。）。
- 5) 前各項の規定にかかわらず、Day 1 および Day 2 と、マイプロ発表日及び CHL 東京校のみで開講する講座(東京 Day5-6)については、他地域での振替受講はできません。また、他地域からこれらの講座を受講することもできないものとします。

[解約について]

- 1) 開講前：下記の場合に限り、解約を認め受講料を返金いたします。
 - (1) 申込手続終了者が申込期開講日の 4 営業日前までに書面（E メールでも可）にて受講を辞退した場合
 - (2) 当校の都合で講座を中止した場合上記いずれかの場合を除き、講座の受講の有無、理由を問わず、申込手続終了者は、受講契約を解除、取消又は無効とすることはできず、受講時期も変更することはできないものとします。
- 2) 開講後：当校の都合で講座を中止・中断する場合に限り、受講契約が終了するものとします。その場合、講座の実施状況に応じて当校の判断により受講料の全部又は一部の返金を致します。
- 3) 上記 1)、2)以外は、講座の受講の有無、理由を問わず、申込手続終了者は、解約等により受講契約を遡及的あるいは将来に向かって無効とすることはできないものとします。

なお、当校の都合で受講が中止、中断された場合であっても、本規定による返金以外、当校及び一般社団法人 Medical Studio は返金又は損害賠償の責を一切負わないものとします。
- 4) 集合研修の欠席の場合、連続している講座の次回の受講は、当校の判断で認めることがあります。

[受講料]

- 1) 受講料は原則全額前納となります。
- 2) 銀行振込の場合の振込手数料はご本人負担となります。
- 3) 受講料のお支払いは申込後に当校が発行する請求書及び請求案内記載のお支払期日までにお手続きください。
- 4) 受講料の返還は原則行わず、本規約で明示される場合のみ認めます。

[受講の制限]

次の各号に該当するときは、当校事務局の決定により受講の一時停止、もしくは受講契約の強制終了とします。その際には、受講料（その他当校に払い込んだ全ての料金等を含み、以下同様）は、一切返金されないことをご了解ください。

- 1) 講座の進行を妨害する行為、又は講師、職員もしくは他の受講生に対して迷惑となるような行為をした場合
- 2) 承諾なしに売り込み・勧誘など、自己又は第三者のための宣伝又は営利目的の場、政治的活動の場、思想的活動の場等として利用した場合
- 3) 講座内容の収録、転送、又は講座資料の無断転載／複製を行った場合。但し、一部著作権クレジットを表記した上で当校より転載／複製が認められているものについては除く。
- 4) 他人に講座コンテンツもしくは資料又はその複製物の全部又は一部を貸与、贈与又は譲渡した場合（オークション等への出品、第三者への委託等により貸与、譲渡しようとした場合を含む）
- 5) 集合研修の会場の利用上の規則、注意、管理者の指示等に従わない場合
- 6) その他、当校の品位を著しく傷つけた場合

[学校感染症による出席停止]

- 1) 学校保健安全法施行規則第 18 条に定める感染症に罹患した場合には、クラス等への出席を停止するものとします。
- 2) 受講生からの申請及び医師の診断書等の提出をもって、出席停止の該当回について出席扱いとします。

[届出事項の変更]

届出事項の変更が発生した場合、又は予め変更が分かっている場合は当校事務局までご連絡下さい。速やかな届出変更がない場合に受講生に生じた不利益について当校及び一般社団法人 Medical Studio は一切責任を負いません。

[コンテンツ・著作物利用における守秘義務]

- 1) 講座で知り得た他の受講生の秘匿情報は、受講期間中／後に関わらず、他者に伝えることを禁じます。
- 2) カリキュラム内容・教材、配布資料等の無断転用／複製、送信可能化を禁じます。
- 3) 講座の録音、録画、写真撮影、ライブ配信、送信可能化、資料等の複製／転用などは一切禁じます。但し、一部著作権クレジット表記を付与し当校より転載が認められているものについては、当校が明示的に認めている範囲内でのみ転載できるものとします。
- 4) 提出物等は事前の承諾を得て、他の受講生に公開する場合があります。

[個人情報の保護]

当校は、講座の実施に関連して知り得た利用者の個人情報（以下「個人情報」といいます。）を、次の各号の何れかの場合、その他講座の実施、受講生の管理等のために合理的に必要となる範囲を超えて利用しないものとします。

- 1) 当校からの情報提供の目的で利用者に電子メールを送付する場合
- 2) 個人情報を適切に管理するように契約等により義務づけた業務委託先に対し、講座に付随するサービス提供のために必要な業務を委託する目的で個人情報を提供する場合
- 3) 講座に付随するサービス提供の向上等の目的で個人情報を集計および分析等する場合
- 4) 前号の集計および分析等により得られたものを、個人を識別または特定できない態様にて 提携先等第三者に開示または提供する場合
- 5) 個人情報の利用に関する同意を求める目的で利用者に電子メール等を送付する場合
- 6) その他任意に利用者の同意を得たうえで個人情報を開示または利用する場合

[その他]

暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる反社会的勢力の構成員、またはその関係者であることが判明した場合、受講前、中を問わずクラス受講をお断りします。その場合、支払済みの受講料は一切返金しません。

[合意管轄]

本規約その他「コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科」の講義及び講義に付帯するサービスの利用に関して紛争が生じたときは、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

※規約は予告なく変更されることがあります。

※規約が変更された場合は、その時点から新しい規約が適用されます。

2013年8月27日 第1版

2015年1月28日改訂

課題エッセイと併せて FAX にて送信する方は、下記をご利用ください

「コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科」
2015 年 受 講 申 込 書

受講希望地	東京 ・ 札幌 ・ 大阪 ・ 福岡
申込日	2015 年 月 日
ふりがな	
氏 名	
所属機関名	
肩 書	
郵便番号	〒
住 所	
電話番号	
携帯電話番号	
電子メール	

受講規約に同意する	<input type="checkbox"/> 同意する
請求書	<input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要
請求先宛名	
件名	
住所	〒
担当者氏名	

※領収書が必要な場合は、事務局に宛名をお知らせください。発行させていただきます。

申込締切：2015 年 2 月 28 日（土） 23:00 Fax: 03-6457-7968